

「もしもひとりぼっちでごはんを食べるなら、子ども食堂に来て、いっしょにごはんを食べよう。テレビもゲームもないけれど、ワイワイおしゃべりしながら、おなかいっぱいになるまで」

ある子ども食堂の呼びかけです。

今、日本の子どもの6人に1人が貧困状態にあり

ます。でも、子どもたち

ちに責任は問えません。

そして、家庭だけに責任

を求めても解決でき

ないのが現実です。

(ネット通信18号で、子

どもの貧困について特集

しました。)

4月16日、地域で子

どもたちの未来を考え、

食のセーフティーネット

トに取り組む「子ども

食堂」の活動を知るた

めのフォーラムに参加

しました。

●基調講演「地域が変

われば子どもも変わる

」要町あさやけ子ども食

堂・栗林知絵子さん

子どもを元気に外で遊ば

せたいということをしっ

かに、プレパークから学

習支援、子ども食堂の

活動へと繋がっています。

「子どもは、おたまじゃく

しの時に地域でいっぱい

お節介をされて、大きく

なって『おせっかえる』に

なっていて地域に戻って

きます。」

お話から、持続可能な

コミュニティの広がりを感じ

ました。

フォーラム報告 子ども食堂 を作ろう！ わいわいガヤガヤみんなでごはん 一緒に食べよう！一緒に笑おう！

●パネルディスカッション

「ねりま子ども食堂」さん、「ダイコン子ども食堂」

さん、浦和の「ヘルシーカフェのら」さん、「コミュニ

ティカフェ幸茶店」さん。子ども食堂を始めてみ

たら、食事だけじゃなく、心やコミュニケーション

の貧困に気がついたとの報告が印象的でした。

●子ども食堂を始めるヒン

ト(市民セクター政策機構

理事長白井和宏さん)

●まずは始めてみよう

●無料の場所を探そう

●開業資金

●参加費の目安は子ども基

本無料、大人は300円

●メニューは目的と力量に

応じて

●開催頻度はメンバーの条

件に応じて

●ボランティアスタッフを

集めよう

●サポーターを集めよう

●フェイスブック、ツイッ

ター、ブログ、ミニコミで広報

●保健所に行っておこう

●行政に支援を要請しよう

●とにかく一度は子ども食堂を訪問させてもらおう

●ネットワークに参加しよう

*生活クラブ運動グループ協議会主催：生活クラブ生協、

玉県市民ネットワーク、埼玉ワーカーズコレクティブ連合会、

NPO法人大人の学校、NPO法人コミュニティケアクラブ

埼玉、三富ライフフォーラム

市民ネットワーク鶴ヶ島は、

かざらない、いつも市民目線の大河原まさこさんを応援しています!!

私たちが、生活者ネットワーク出身の大河原まさこさんを推す3つの理由

①政策が一致します!

ストップ格差社会、安心の社会保障制度、女性や若者の雇用の安定、原発ゼロ、食の安全

②政策力・質問力・行動力があります!

「国会議員の通信簿」全参議院議員中7位!(2013年)

③最大野党に生活者の目線の議員を送り出す!

改憲勢力2/3を阻止

*参議院比例区は全国どこでも個人名で投票できます。



大河原まさこさん
都議3期10年
参議院議員1期6年

●講演会のお知らせ「どうする?老人・子どもの貧困・格差」

日時: 6月1日(水)18:30から 場所: 越谷市中央市民会館 5F 会議室

講師: 藤田孝典さん

社会福祉士、生活困窮者支援を行うNPO法人ほっとプラス代表理事、「下流老人」著者

ゲストコメンテーター: 大河原まさこさん

主催: 大河原まさこと勝手に連帯する会